

Software Review : TOEIC TEST パーフェクト対策シリーズ

野澤和典

レビュー教材名

英語力UP! トリプル学習法 Get Score 450 !! TOEIC TEST パーフェクト対策 for Windows 98 / 95 / NT & Macintosh (ハイブリッド版)

英語力UP! トリプル学習法 Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策 for Windows 98 / 95 / NT & Macintosh (ハイブリッド版)

英語力UP! トリプル学習法 Get Score 730 !! TOEIC TEST パーフェクト対策 for Windows 98 / 95 / NT & Macintosh (ハイブリッド版)

発売元 (株) 創育

監修 ラリー・ニフィンング (Larry Knipping)

価格 各5,900円 (税別)

出版年 1997年 (第一版), 1999年 (第二版)

各商品構成

CD-ROM 1枚 テキスト 1冊 リスニング CD 1枚 ガイドブック 1冊 パンフレット 1枚

動作環境

- Windows 98 / 95 / NT : i486DX 4 -66MHz 以上 (Pentium 推奨), RAM16MB 以上 (32MB 以上推奨), 640×480ドット以上で256色以上表示可能なディスプレイ (32,000色以上推奨), 倍速 CD-ROM ドライブ以上 (4倍速以上推奨), サウンドブラスター16あるいはそれと同等のサウンドボード必須。
- Macintosh : 68LC040-25MHz 以上 (PowerPC 搭載マシン推奨), 漢字 Talk7.1 以上 (MacOS 8 以上対応), 68LC040 搭載機では RAM 8 MB 以上 (16MB 以上推奨), PowerPC 搭載機では漢字 Talk の場合は RAM16MB 以上 (32MB 以上推奨), MacOS の場合は RAM32MB 以上 (48MB 以上推奨), 640×480ドット以上で256色以上表示可能なディスプレイ (32,000色以上推奨), 倍速 CD-ROM ドライブ以上 (4倍速以上推奨)。

1. はじめに

TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語を母語としない人の、英語によるコミュニケーション能力を測ることを目的としたビジネス色が強い内容の能力検定試験であ



図1：TOEIC TEST パーフェクト対策シリーズ

る。北米の大学・大学院への留学するための英語能力を測るアカデミック色が強い TOEFL (Test of English as a Foreign Language) の開発・制作・実施で知られるアメリカの ETS (Educational Testing Service) が同様に開発・作成・実施している。1979年に初めて日本で実施され、現在、韓国や日本を中心にしたアジアやヨーロッパなど世界50カ国以上で実施されてきている。日本での受験者数は、多くの大企業などでの新入社員や海外留学・勤務候補者の能力審査に使われてきている関係で、定期テスト (Secure Program / 個人受験) と団体特別受験制度 (Institutional Program) において、毎年増加し続けている。その結果、近年多くの TOEIC 受験対策用テキスト、リスニング CD、コンピュータ用ソフトウェアが出版されてきており、特に日本でも2000年度から始まる TOEFL の CBT (Computer Based Test) 化の影響と共に、TOEIC も近い将来 CBT 化に向かう予定から、CBT スタイルそのものとコンピュータ用ソフトウェアに慣れ親しみながら訓練し、英語力を伸ばすことが求められている。

図1および動作環境からも分かるように、いずれのパッケージも Windows および Macintosh の両方に対応したハイブリッド版 CD-ROM 1枚、リスニング CD 1枚付きで、全7パートの傾向と対策、模擬試験、解答と解説、ボキャブラリーから成るテキスト1冊、そしてガイドブック1冊、パンフレット1枚から構成されている。パッケージ・デザインは本教材の特徴が明確に紹介されており、大変わかり易い。また、とかく Windows ユーザーのみが対象あるいは Macintosh ユーザーのみが対象というソフトウェアが多い中、その両方に利用できるスタイルは理想的である。一般的にビジネス用のものと比べて教育用 CD-ROM は割高であるが、手頃な価格にも設定されており、個人レベルでも入手し易くなっている。さらに、インターネット上の KnowledgePool Online の TOEIC TEST 受験対策講座「即効英語力養成」7日間無料体験コース (<http://www.soiku-mm.co.jp>) 利用も可能である。

従来、TOEIC 受験対策向けの勉強をする時、カセット・プレイヤーと本と鉛筆が必要であったが、このソフトウェアとパソコン一式で学習が可能になる。さらに、自己流で学習するのでは

なく、長年の研究と徹底的な分析により出題傾向と日本人特有の弱点、誤答傾向を熟知した監修者の独自の TOEIC 受験対策メソッドを習得することもできる。

2. テキストの概要

いずれのテキストも、「はじめに」、「TOEIC TEST とは」、全7パートの「傾向と対策・模擬試験・解答と解説」、「ボキャブラリー」、「Answer Sheet サンプル」から成る279-287ページでA-3サイズのものである。リスニングCDが付いていて、テキストないしCDプレイヤーを持ち歩きながら学習できる。図2からも明確なように、Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策（以下、Get Score 450!! と略す。）では、通常会話で最低限のコミュニケーションができるレベル（Level D: 221~469）、即ち、入門～基礎レベル学習者を対象としている。同様に、Get Score 600!! TOEIC TEST パーフェクト対策（以下、Get Score 600!! と略す。）では、日常のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル（Level C: 470~729）、即ち、さらにランク・アップを目指す中級レベル学習者を対象としている。また、Get Score 730!! TOEIC TEST パーフェクト対策（以下、Get Score 730!! と略す。）では、どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているレベル（Level B: 730~859）以上、即ち、「話す」能力をテストするための正式な Interview Test を受験する資格が得られる上級レベル学習者を対象としている。

スコア	レベル	説明
860	A	Non-Nativeとして十分なコミュニケーションができる。
730	B	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている。
470	C	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。
220	D	通常会話で最低限のコミュニケーションができる。
	E	コミュニケーションができるまでに至っていない。

図2：TOEIC TEST スコアとレベルとの相関表

3. テキストの利点・欠点

上記のように、テキストはコンパクトなスタイルなものであるが、その総ページ数からも分かるように、携帯しながら学習するにはやや重く感じる。しかし、意欲のある学習者であれば、これはたいした問題ではないだろう。簡潔な「はじめに」、「目次」、「TOEIC TEST とは」の後、まず「傾向と対策」では、各パートとも(1)問題形式、(2) Sample Question、(3)出やすい場面設定、(4)よく出る文法事項、(5)弱点ポイントと対策、(6)練習問題とそれらに対する(7)解答と解説から構成されている。実際の TOEIC でも出てくる写真は白黒であるが、本テキストでも同じスタイルになっている。特徴的なことは、(7)解答と解説では、問題文が和訳されていると同時に、詳しい解説も提供されている一方、(5)弱点ポイントと対策は、TOEIC 受験対策として大変役に立つヒントを提供してくれる。但し、Get Score 450!! の基礎・初級レベル学習者だけが対象なら理解できるが、Get Score 600!! および Get Score 730!! の中級・上級レベル学習者用に問題文の和訳提供の必要性はあるのかやや疑問に思う。

模擬試験については、写真の大きさや文字フォント・サイズも適当であるが、これらが TOEIC の過去問題データベースから入手されたものか、独自に作成したものか不明である。表紙に This publication is not endorsed or approved by ETS or The Chauncey Group International Ltd. と書かれている以上、正式に許可を得て、入手した過去問題データベースからのものでないことは明確である。

続く各パートの「解答と解説」も練習問題と同様なスタイルで提供されているが、ここでもトランスクリプションの和訳は、Get Score 600!! および Get Score 730!! の中級・上級レベル学習者には必要ないであろう。

「ボキャブラリー」は、カテゴリー別にまとめられており、それぞれ重要語句が学べる。Get Score 450!! では、カテゴリー毎に5つのサンプル文から成る「必ず覚える重要表現」があるが、Get Score 600!! および Get Score 730!! にはないのが残念である。

巻末にアンサー・シートが付いているが、それをコピーさえすれば、何度でも塗りつぶしながら実践練習もできることは、実際の TOEIC 受験時に大変役に立つ。

また、各テキストには、2～4のコラムがあり、アメリカ文化事情について学ぶことができるが、できればもっと広げた英語圏（即ち、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、連合王国、アイルランドなど）からのものをさらに加えて提供する方が理想的と言えよう。これらコラムの中で一つだけ著者と意見を異にする点は、中古車の売買という話題で、「アメリカで車がなくても生きていけるのはニューヨークとサンフランシスコぐらい。あとは車がないと生活は成り立たない。(以後省略)」と断言しているが、これは必ずしも正確ではないだろう。どこの中・大都市でもバスや地下鉄などの路線近くに住んでさえいれば、日常生活に必要なものは、ダウンタウンのスーパーマーケットでも小さなお店でもたいてい間に合うものである。もちろん、より安いものや品数の多さを求めて、郊外に多いディスカウント・ショップやショッピング・センターへ行くには、車は不可欠と言えよう。

4. CD-ROM の特徴

図3からも分かるように、最大10人まで登録する事ができ、各自のペース配分で学習できる。但し、10文字までの名前でしか登録できなく、同姓同名者が共有する場合、登録名に多少工夫が必要であろう。

以下の図4～14からも分かるように、公式の TOEIC と同じ出題傾向・出題形式の模擬テストである。時間が無い時は中止して、再開する時はその途中から始めることができ、分けて問題を解いていくことができる。また、時間配分を考えて訓練したい学習者のために、時間制限ありモードで、残り時間を画面に表示したりできる一方、逆に一題一題をじっくり解きたい学習者には、時間制限無しモードで、何回でもリスリングをすることができる。

さらに、模擬テスト実施後の採点は、当然のことであるが、コンピュータが自動で計算してくれる。図15にあるように、各パートの正解状況も分かり易くグラフ化してくれ、学習者の弱点がどこにあるのかを浮き彫りにしてくれる。

本教材を使う学習で、一番便利であると感じるのは、やはり無駄な時間の短縮である。今まで模擬テストを実践してみるには、2時間ぐらい休みなく続けなくてはならないし、学習者自身で採点するにも相当の時間を要する。それを一瞬で計算してくれ、各パート毎の正解率もグラフ化してくれるのは、学習者自身の弱点を知るのにかなり役立つ。「TOEIC TEST パーフェクト対



図3：「Get Score 450 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での初期登録画面



図4：「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での個人登録後のメニュー画面



図5：「Get Score 730 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」の出題傾向と対策を選んだ時のメニュー画面

問題用紙に印刷された写真に対して、4つの選択肢が放送されます。この選択肢の中から写真の内容に最も適するものを選び、解答用紙にマークします。問題数は20問。選択肢はどれも長い文ではありませんが、それぞれ1回しか読まれず、問題用紙には印刷されていないので、正確に聞き取らなければなりません。

POINT

- ・ 問題用紙には選択肢が印刷されていない。また、それぞれ1回しか読めない。
- ・ 写真に写っている物・人の状態を素早く把握する。
- ・ 選択肢がどんな動作や状況を表した文であるかを素早く聞き取り、それが写真の描写と合致するか判断する。

NEXTボタンをクリックすると、PART IのDirectionsがあります。

QUIT MENU NEXT

図6：「Get Score 730!! TOEIC TEST パーフェクト対策」の出題傾向と対策 (Listening Part 1) を選んだ時の画面 (日本語)

PART I Directions

For each question, you will see a picture and you will hear four short statements. The statements will be spoken just one time. They will not be printed, so you must listen carefully to understand what the speaker says.

When you hear the four statements, look at the picture and choose the statement that best describes what you see in the picture. Then, find the number of the question and mark your answer. Look at the sample below.

Now listen to the four statements.

(A) They're looking out the window.
 (B) They're having a meeting.
 (C) They're eating in a restaurant.
 (D) They're moving the furniture.



Sample Answer
 (A) ● (C) (D)

Statement (B), "They're having a meeting," best describes what you see in the picture. Therefore, you should choose answer (B).

QUIT MENU BACK NEXT

図7：「Get Score 730!! TOEIC TEST パーフェクト対策」の出題傾向と対策 (Listening Part 1) を選んだ時の画面 (英語)



図 8 : 「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問のメニュー画面

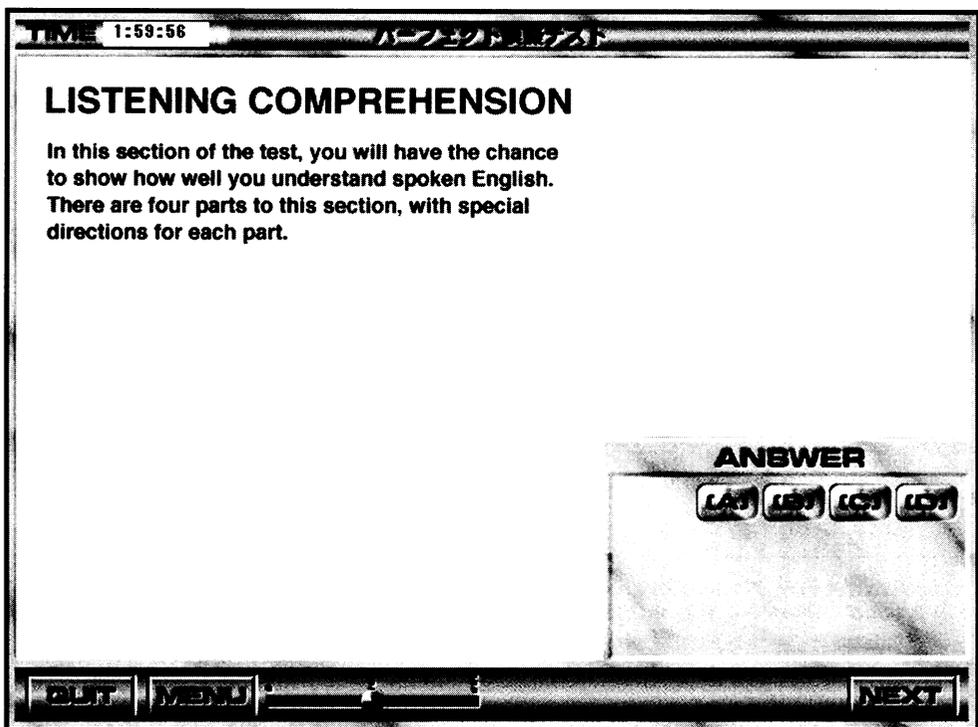


図 9 : 「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問の Listening 問題画面

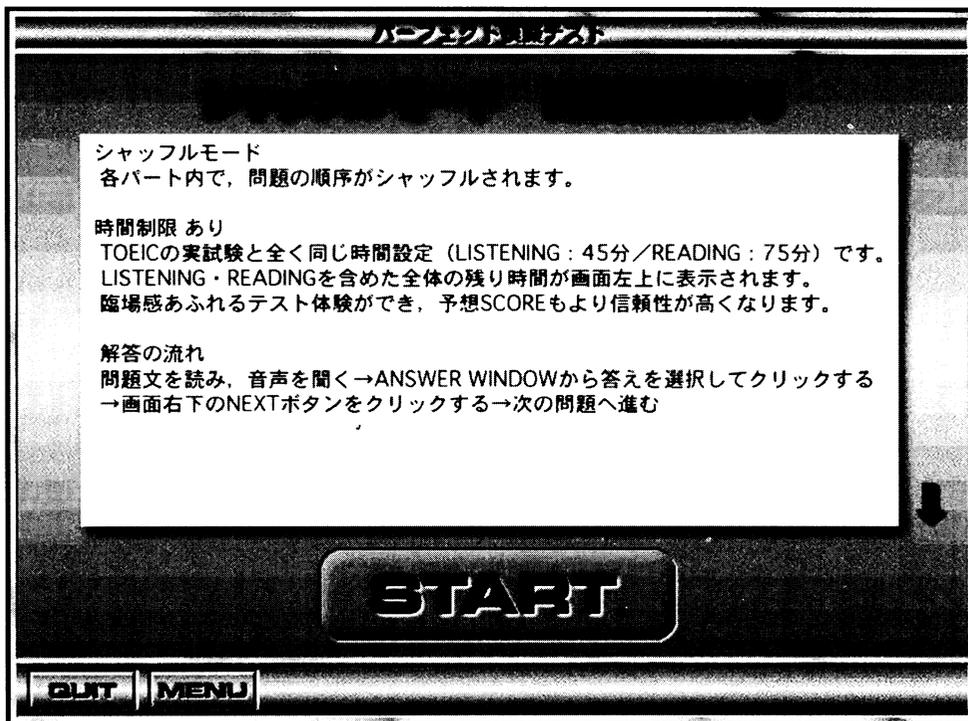


図10: 「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（シャッフルモード時間制限あり）のスタート画面

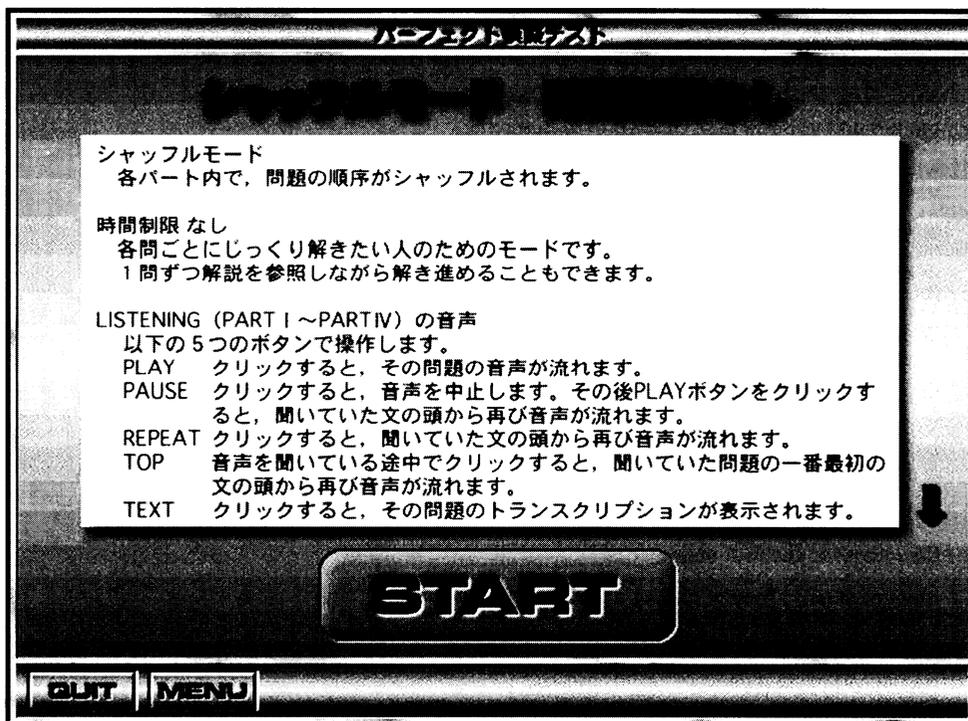


図11: 「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（シャッフルモード時間制限なし）のスタート画面

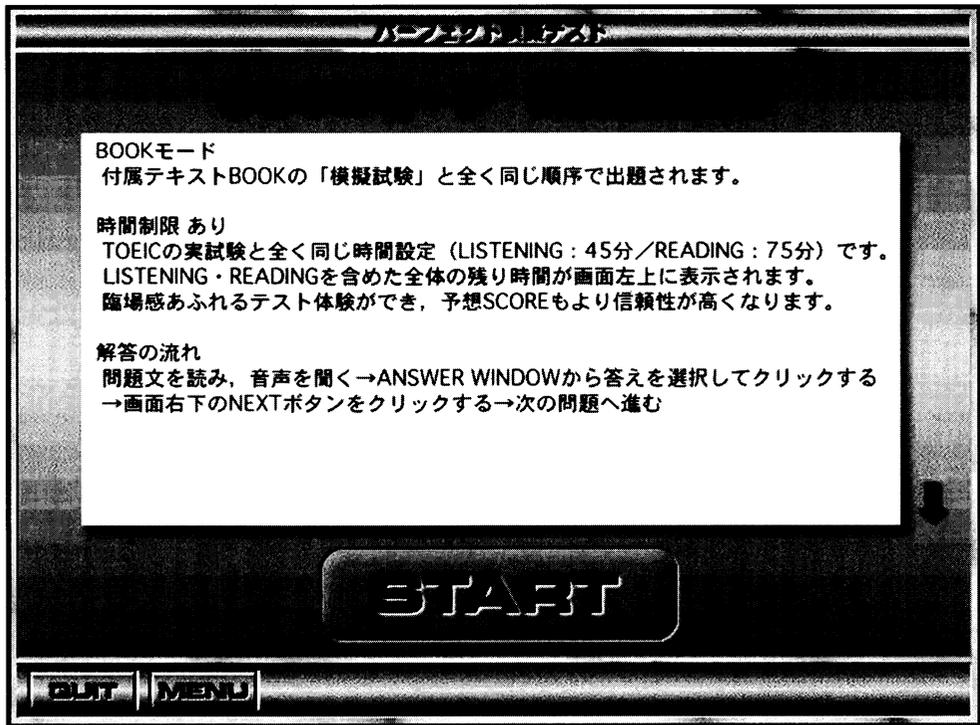


図12：「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（Book モード時間制限あり）のスタート画面

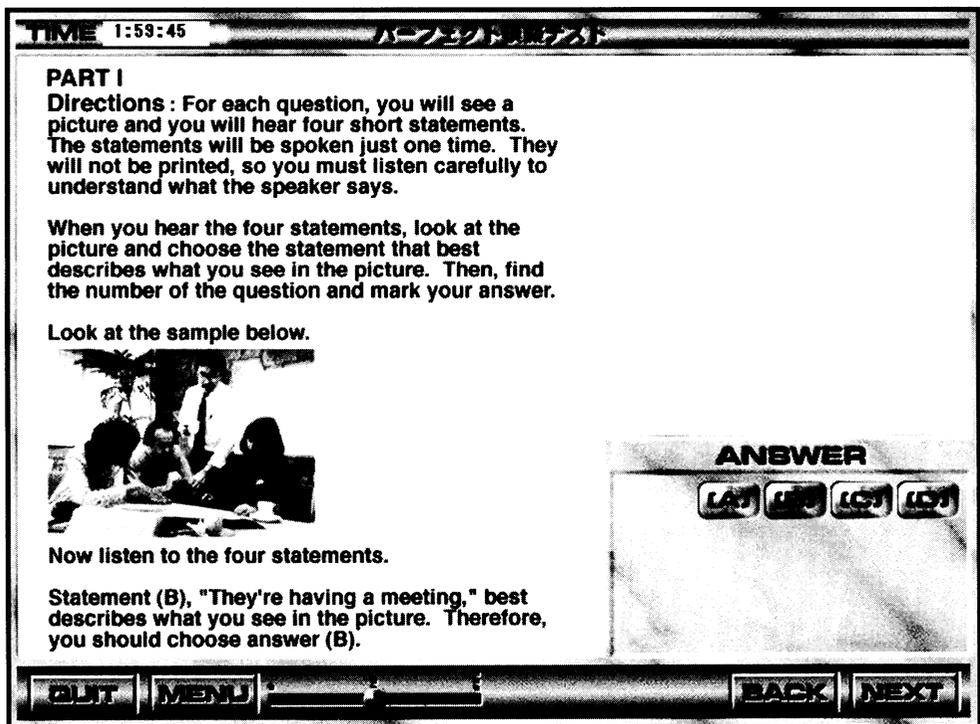


図13：「Get Score 450!! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（Book モード時間制限あり）のDirection画面

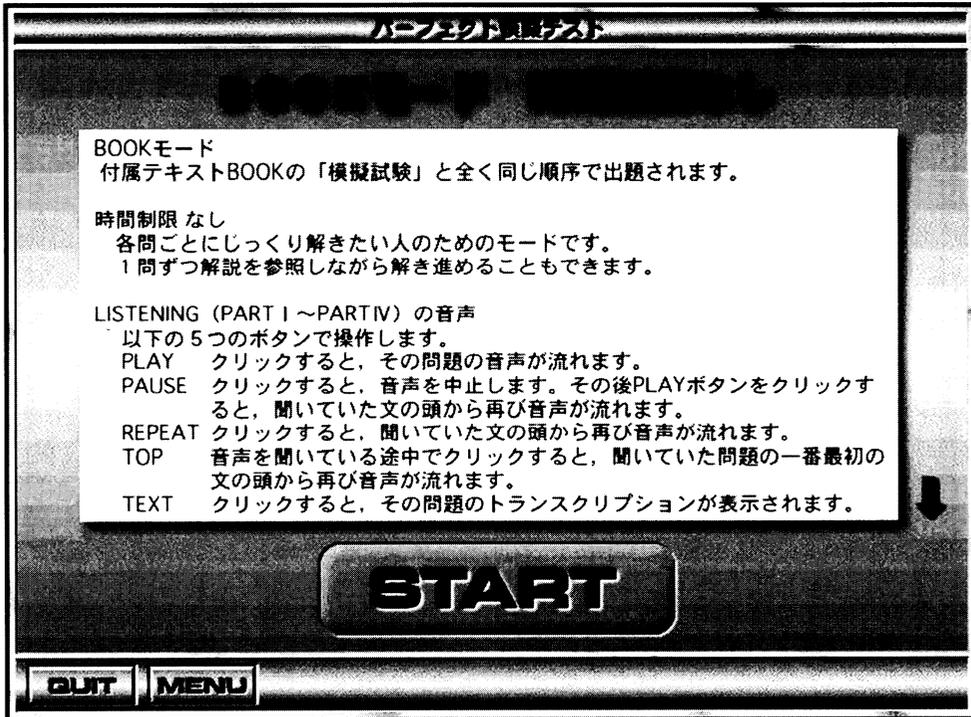


図14：「Get Score 450 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（Bookモード時間制限なし）のスタート画面

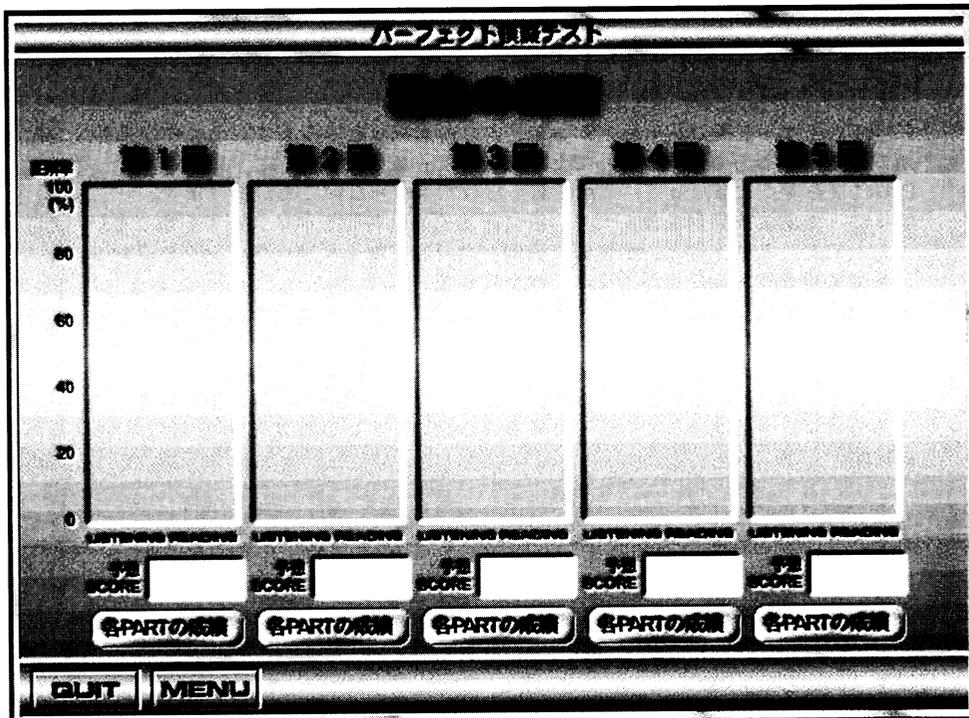


図15：「Get Score 450 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのパーフェクト模擬テスト200問（過去の成績）未使用の画面

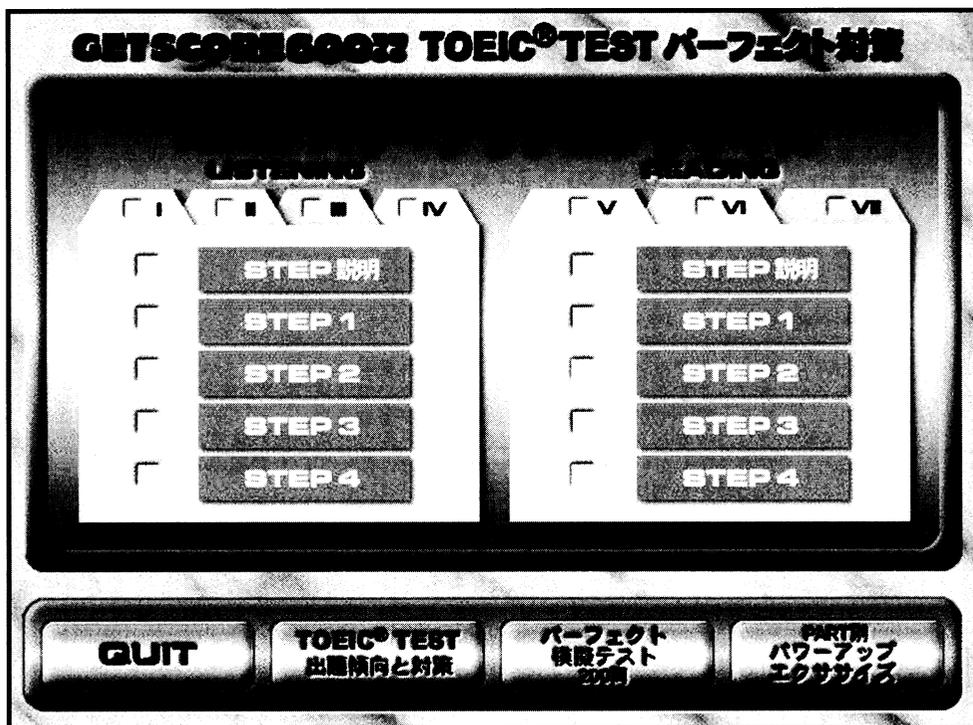


図16：「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での Part 別パワーアップエクササイズのメニュー画面

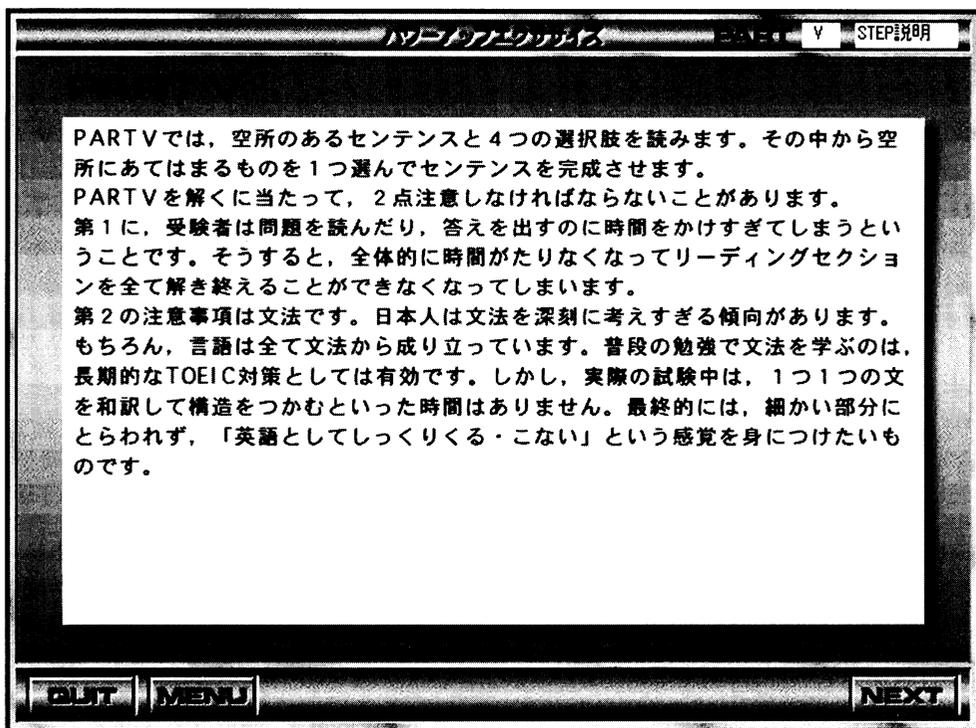


図17：「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での Part 別パワーアップエクササイズの Reading Step 説明の画面

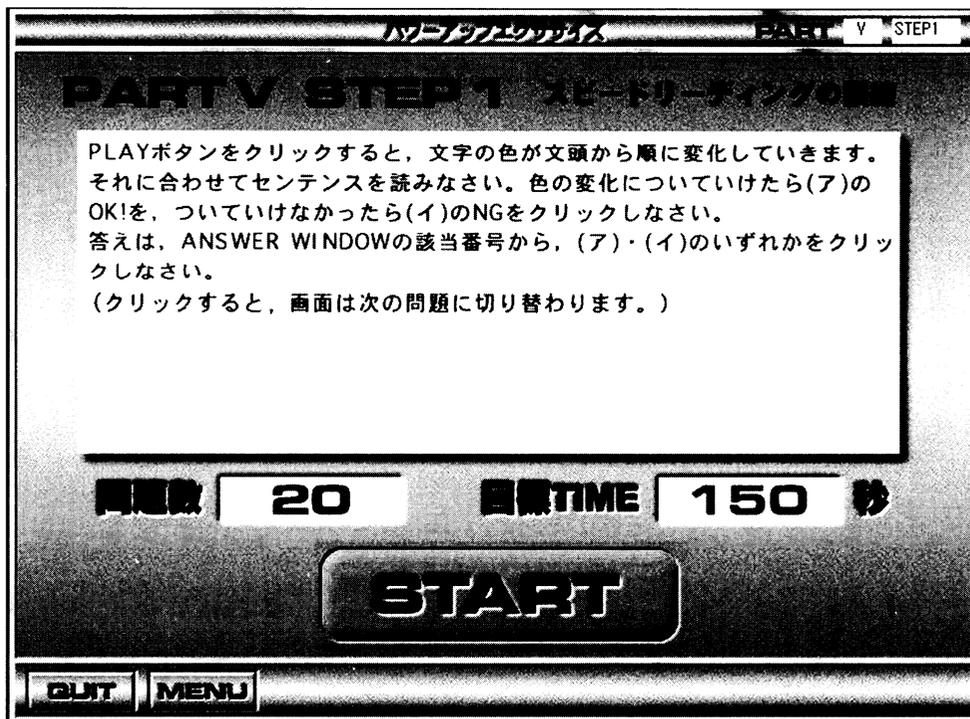


図18 : 「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのPart別パワーアップエクササイズのSpeed Reading 訓練のスタート画面

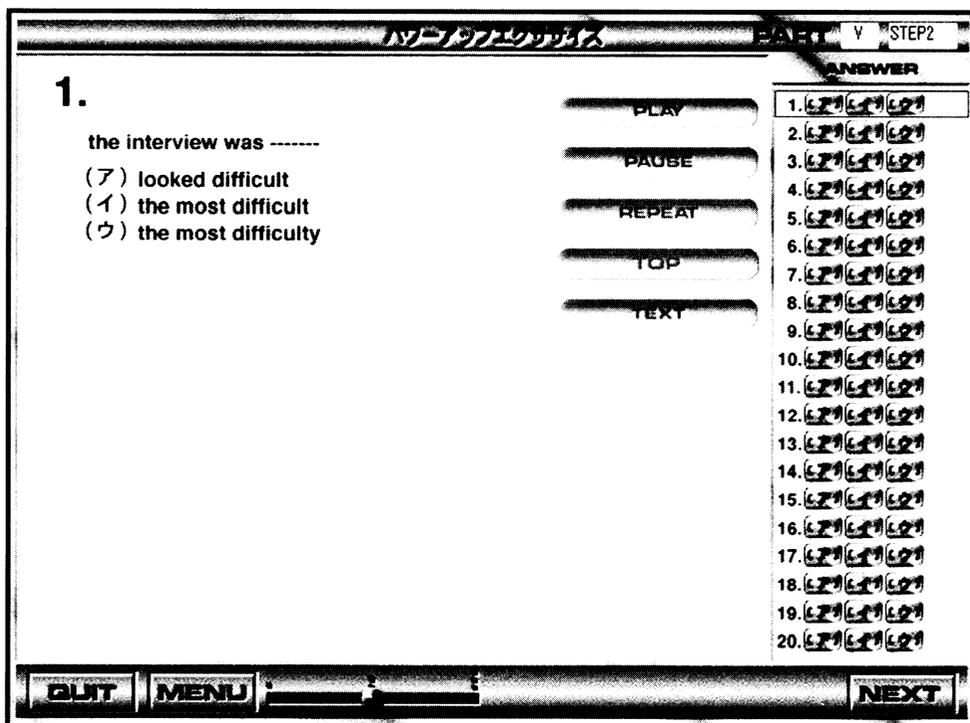


図19 : 「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」でのPart別パワーアップエクササイズのSpeed Reading 訓練のStep 2画面

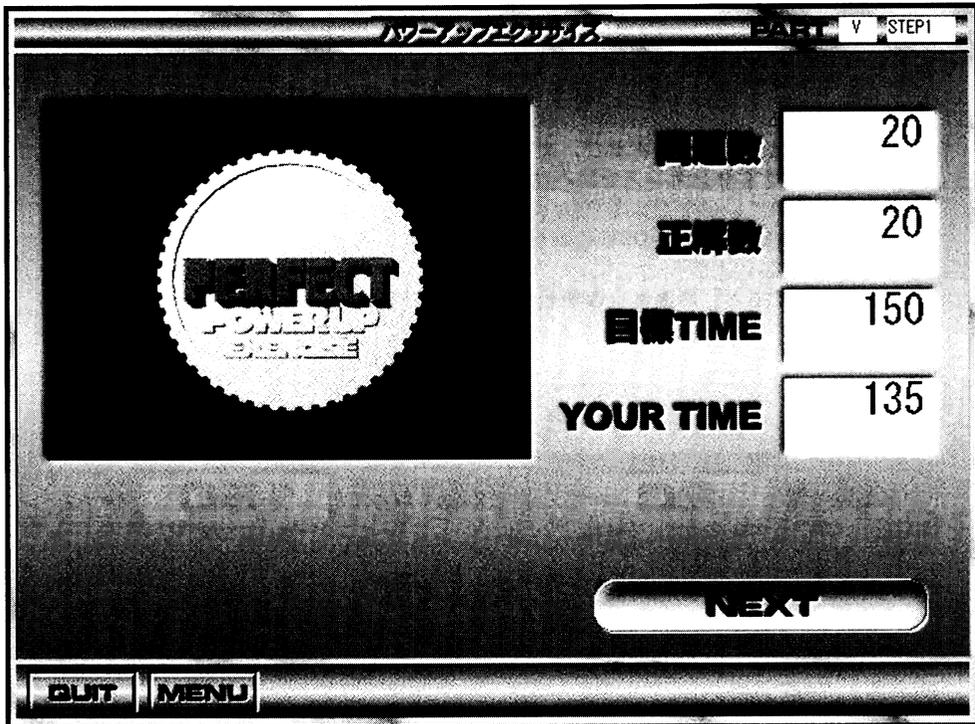


図20 : 「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での Part 別パワーアップエクササイズの Speed Reading 訓練結果 (Perfect) 画面

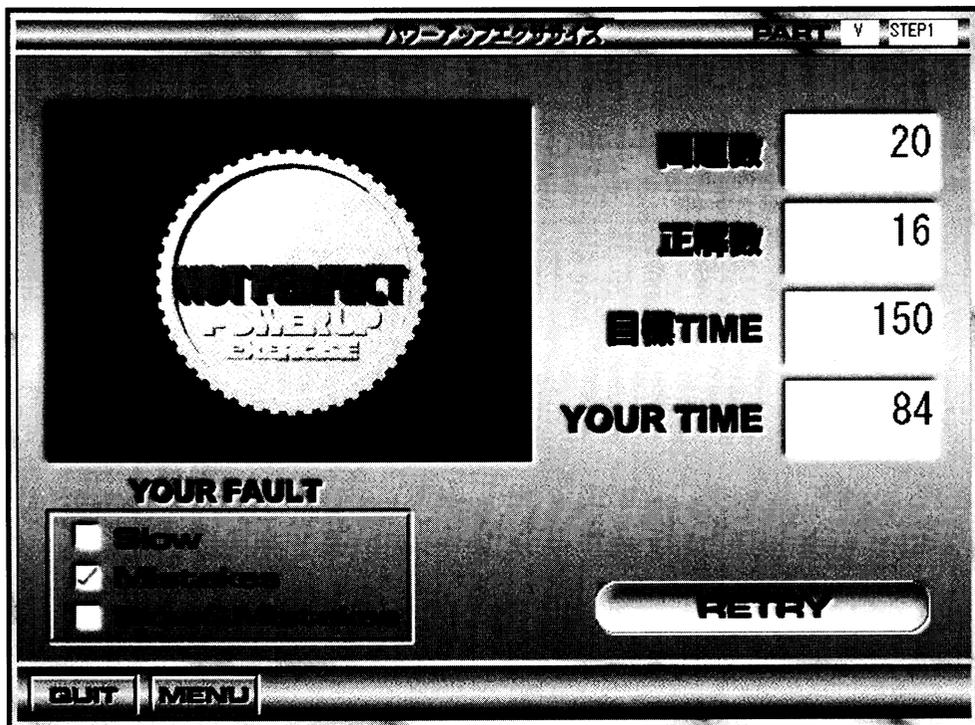


図21 : 「Get Score 600 !! TOEIC TEST パーフェクト対策」での Part 別パワーアップエクササイズの Speed Reading 訓練結果 (Not Perfect) 画面

策」シリーズは、学習者自身のペースで着実にスキルを付けていくのには、まさに最適なソフトウェアであると思う。

図16～19で分かるように、各パートに必要なスキルを確実に身につけてくれるエクササイズが「Part 別パワーアップエクササイズ」である。全7パートそれぞれに、4段階のエクササイズと学習目標を示したSTEP 解説がある。STEP 4は、実際の試験と同じ形式で、STEP 1～3は、その形式を攻略するための段階別エクササイズである。STEP 4には、1問ごとに詳しい解説がついている。

学習者が一人で勉強すると、どうしても学習方法が偏りがちになってしまうのであるが、このソフトウェアを使って、様々な学習方法を学ぶことができる。まず、「模擬テスト200問」について、「時間制限あり」でやってみると、どうも画面左上に表示されている時計に気をとられがちで、おのずと集中力が切れ気味となる。時計は学習者自身が知りたい時にだけ表示できるようにした方が良いのではないだろうか。

次に、「制限時間なし」でやってみると、普段は1回しか聞けない文章を学習者自身が聞き取れるまで繰り返すことができたり、本文を表示できたり、一つひとつの問題を listening と reading の2つを合わせて納得した上で答えを導き出すことができ大変良い。しかし、図20～21からも分かるように、「Part 別パワーアップエクササイズ」は全問正解でしかも時間以内に終了しないと、次の段階に進めないで、学習者自身がどこで間違っているのかを探するのに、ノーヒントという状態はかなりつらいものとなる。各ステップの途中で終了してしまう場合にも、達成度ポイントとして何かを付け加えて欲しいものである。

5. リスニング CD

図22のように、当然のことながら、コンピュータ上でCDプレイヤー利用のリスニング練習も随時学習者のペース配分のもとでできるが、現在かなり普及している携帯用CDプレイヤーに直接挿入して利用できるし、著作権の問題もあり、お薦めできないが、MDプレイヤーに教材データをコピーして利用も可能である。しかし、今後は、より軽く小さいMP3プレイヤーの普

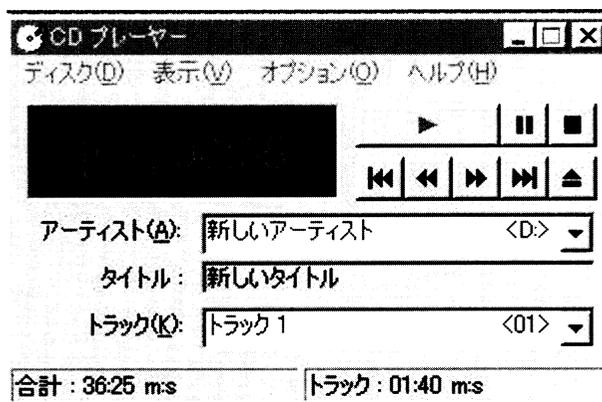


図22：リスニング練習時に利用するCDプレイヤー

及と共に、もっと手軽にデジタル学習素材だけを移し、時間と場所に制限されないより自由な学習スタイルも提供できるようになるであろう。

6. おわりに

テキスト、CD-ROM、リスニングCDから構成される本教材シリーズは、3スタイルの利用方法で、「TOEIC TESTの基本とは何か」を理解した上で、模擬試験やパワーアップエクササイズを通して英語力の向上を可能にすると共に、TOEIC受験へのテクニックを高めるのに大変便利である。これらを積極的に活用して事前学習で慣れ、本試験でも十分に能力を発揮できるように訓練していくことが好成績につながることは言うまでもない。その意味で、本教材シリーズは、コンピュータ利用の英語学習（CAELL - Computer Assisted English Language Learning）という、これまでとは異なる学習形態で効率よく英語を学べるものの一つと言えよう。

参考資料

野澤和典（1998）. 「コンピュータと英語教育」『一般教育論集』愛知大学教養部, 14, 83-104.

野澤和典（1997）. 「マルチメディア CD-ROM教材を使った英語授業」『第37回語学ラボラトリー学会全国研究大会研究発表要綱』語学ラボラトリー学会, 89-90.

〈注〉

本レビューをまとめるのにあたり、理工学部情報系情報学科4回生の佐藤加奈さんにシリーズの1つについての使用感などについて率直な意見をいただき、一部表現を変えて含めさせていただいた。書面ながら、お礼を申し上げたい。